

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和元年 12月 26日

事業所名： おひさまCLUB

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・確保できている。学習室、保育室を分けている。	・事業所に送迎した事もなく、利用者本人からも情報が取れないので評価できなかった。 ・遊びスペースが少し狭い。 ・活動中を見ていないのでどちらとも言えない。	・確保できている。グループ分けをする等、部屋を広く使えるよう工夫している。
	2 職員の適切な配置	・適切な職員配置をしている。	・中まで見れていない為、先生の数が足りているのかは不明。	・職員数は満たしている。イベントや活動に応じて職員を増員している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・バリアフリーではないが、できるだけ段差をなくすようにしている。文字、写真、絵カードを使用している。	・慣れればそうでもないと思うが、もう少し視覚的に分かりやすいようにして頂ければ…。	・利用者のニーズに対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日の清掃、タオル交換、子供が口に入れた玩具は洗う。液体類が気になる子供が来園する日は目の届かない所に置いている。	(ご意見なし)	・日々の掃除や、環境整備を心がけていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・打ち合わせ、反省をし、次へ繋がるようにしている。	/	・反省をする時間をしっかり持ち、次へ繋がるようにする。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・ありません。	/	・実施していません。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・職員研修へ率先して参加している。	/	・継続していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・保護者のニーズを反映出来るよう心がけている。	/	・子どもたち一人ひとりについて、アセスメントを収集し、計画書を作成していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・出来ていると思う。	・送って来て下さる時も祖母宅が多く、色々伝えて下さってると思うが、私には情報が入ってこず評価できない。	・打ち合わせをしっかり行い、活動の中において子どもの状況に応じて内容を加え計画する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・具体的に記載するようにしている。	/	・スモールステップを大事にし、保護者に分かりやすいように記載を心がけていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・個別支援計画の内容を職員間で共有出来るよう心がけている。	(ご意見なし)	・職員間で内容を共有し、支援出来るように取り組んでいく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・チーム全体で案を出し合っている。	(ご意見なし)	・打合わせや反省での意見を聞き、プログラムを立てていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・活動内容を変えている。		・子供の年齢や性格に合わせて、活動内容を変えている。夏休みや土曜日など、時間に余裕がある時にしか出来ないことの工夫をしていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・同じプログラムは続けてしないようにしている。		・子どもたちが飽きないように、プログラム内容をスタッフ間で考えていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・打ち合わせをしている。		・打ち合わせを大事にし、支援内容や役割分担の確認を徹底していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・その日の反省を行い、職員間で話をしている。	・同じ反省を繰り返さないようにスタッフ間で話し合い、共有していく。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・反省で上がったことをしっかり記録し、次に繋がるようにしている。	・継続していく。	
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的なカンファレンスが出来かねている。	・定期的なカンファレンスを実施していく。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・担当者会議へ参加している。	・サービス担当者会議には積極的に参加していく。必要な場合、相談支援事業所に会議の提案をする。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・送迎時に話をする等、支援内容を共有している。	・必要に応じて連携会議を持つようにしていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・そういう機会があれば情報提供する。	・そういう機会があれば情報提供します。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修へ参加するようにしている。	・積極的に研修へ参加するようにしていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・提供をしているわけではないが、公園へ行くと地域の子供達と遊ぶことはある。	(ご意見なし) ・地域の交流の場が持てるように働き掛けていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域住民を招待出来ていない。	(ご意見なし) ・地域との交流が持てるような工夫をしていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・見学時、契約時に説明をしている。	・利用開始時、利用者負担が少し分かりづらかった。	・分かりやすい説明を心がけていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・面談時に時間をとってしっかり説明を心がけている。	(ご意見なし)	・具体的に分かるように伝えることを心がけていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・質の向上を目指します。	・相談に乗って頂けたりして助かっている。	・職員が勉強し、質の向上を目指していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・面談時や送迎時にお話をしている。	(ご意見なし)	・継続していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・悩み等を聞き、その時に答えられない時は、その話を預かり、職員間で話をし、後日話をするようにしている。	(ご意見なし)	・面談を設けていく。保護者の悩みを聞く環境を整えていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・保護者会が交流できる会(おひさま会)を実施している。	・予定等は頂くがこちらの都合で参加出来ていない。 ・おひさま会という形で活動されていますが、固定の方々の…という感じでもう入っていく勇気がない。 ・子育ての情報提供や支援が計画されていてとても良く、信頼して利用している。 ・忙しく参加できていないが、行われている。	・気軽に保護者が交流出来るように、おひさま会へお声掛けしていく。参加しやすい日程を調整していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情が上がった時は、適切な対応をとるよう心がける。	・苦情のアル、ナシを知らない。	・苦情が上がった場合、子どもや保護者の思いをしっかりと聞き、速やかに改善するようにしていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・連絡帳の記入。	(ご意見なし)	・連絡漏れがないようにしていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・おたより、ホームページ。	(ご意見なし)	・おたより発行を継続していく。ホームページやブログの更新を定期的に行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報の記載があるものを捨てる時にはシュレッダーにかけている。	(ご意見なし)	・同意をもらい取り扱っていく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・保護者への周知は出来ていない。	・非常時等の対応がされているのか、機会あれば教えて欲しい。 ・よく知らない。	・個別支援計画へ掲載、面談時に周知していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・学期ごとに1回実施。	・よく知らない。	・定期的に避難訓練を行っていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・職員研修への参加、職員間での情報共有。		・子どもたちの小さな変化を見逃さないようにしていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束をしないといけない子どもはいません。		・対応策を計画に記載するにあたり、保護者としてしっかり話し確認していく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・定期的に保護者と面談をして、食物アレルギー等が発生していないか、小さな変化でも聞き取る。		・保護者からの聞き取りと、調査票への記載で対応を決めていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・事故等を起こした場合、書面報告、全体会議等にてスタッフ間で必ず共有する。		・職員間で共有し、同じことが起こらないように徹底していく。